

ふたばこども園

園便り 3月号

ふたばっ子

令和4年3月1日発行

文責 園長 納富博文



ももの花

※園日より「ふたばっ子」はホームページでもご覧いただけます。

ご卒園おめでとございます

春の訪れが間近となり、陽射しも温かく感じられるようになってきました。年長組では卒園式(12日)に向けての準備が始まりました。

園の最年長として、園のリーダーとして「カッコいい姿」で卒園したいと、返事や卒園証書の受け取り方など、真剣に取り組み、その意気込みに一段と成長した様子が感じられます。

令和3年度は、71名の『ふたばっ子』が園を巣立ち、市内17校、県外1校の小学校へ進学します。「子ども中心の教育・保育」で学び、一年一年の成長がめざましかった学年でした。年少児のころから新型コロナウイルス感染症が流行し、その対策のために、遊びや行事などを中止したり、制限したりせざるを得ませんでした。いろいろな面でこれまでとは異なった園生活でした。しかし、子どもたちはコロナ禍の中でも、運動会やおたのしみ会などの行事、ハロウィンごっこやレストランごっこなどの遊び、それぞれの環境に順応し、やりたい遊びを発見しながら「遊び」に没頭していました。その中で、協同性や協調性、創造力や思考力・表現力等がめきめきと育ちました。コロナ禍でできる、これまでにない新しい内容の行事や園での生活を創り出しました。そして、園が目指す子ども像「やさしく・かしこく・たくましく」のとおり成長しました。卒園式では、そうした大きな成長を心から喜び、祝福してあげたいと思います。

卒園に向けて、とても忙しい年長組ですが、残り少ない園での生活を友達や先生たちと大切に過ごして欲しいと思っています。

ふたばの会 執行部及び役員の皆様 ありがとうございます

「ふたばの会」執行部の皆様には、日々お忙しい中、主体的かつ献身的に活動していただきました。コロナ禍の中、計画しておられた活動は中止や制限を余儀なくされ、これまでのような活動ができず大変だったことと思います。それでも、本園の「子ども中心の教育・保育」という方針をご理解いただき、その実践に向けてたくさんの支援をいただきました。また、コロナ禍でできる行事の精選や内容の改善などにご尽力いただきました。皆様のお力添えで、子どもたちの喜ぶ顔や満足した様子をたくさん見る事ができました。本当にありがとうございました。

子どもを中心に考えた保護者の皆様の温かいご支援やご協力に助けられ、支えられて、一年間の園運営ができました。心より感謝いたします。本当にありがとうございました。

園の自己評価へのご協力ありがとうございました

1月に実施しました「園の自己評価アンケート」へのご協力ありがとうございました。アンケート回収率は94.0%で、昨年度に引き続き90%以上の回答率となりました。保護者の皆様の園へのご協力と教育・保育や運営の在り方に対する関心の高さに、改めて感謝いたします。

集計の結果、保護者様には調査13項目すべてにおいて「A」評定という高い評価をいただきました。ただ、いろいろなご意見もいただきました。それらのご意見は真摯に受け止め、今後の園の運営や教育・保育の参考にし、活かしていきたいと思っております。

また、3月2日に関係者評価委員会を開催し、園の自己評価について5名の委員の皆様からご意見をいただきます。その結果をもとに「令和3年度園の自己評価」を作成し、旭学園理事長に稟議をした後、3月末にホームページに掲載し、公表する予定です。

まだまだ気が抜けません・新型コロナウイルス感染症

オミクロン株による感染症の流行がようやく峠を越したかなという気がします。一時期は連日、人口の少ない佐賀県で多数の陽性者が出てしまい本当に心配でした。10歳未満や10歳代の幼児・児童がたくさん罹患してしまいました。

500人を超える陽性者があった時は緊張が走りました。正直ビクビクでした。それが400人台、300人台となると何となくホッとしてしまう感覚になりました。佐賀県で300人台はまだまだ多い方です。よね。なのに安心してしまい、いづから緊張感がなくなり、気を抜いてしまうことがありました。感覚とは本当に恐ろしいですね。

まだコロナは流行しています。オミクロン株が変異した「ステルスオミクロン株」による流行も気になる所です。再び流行の拡大が起こるかも知れません。

こうした状況を踏まえ、卒園式はクラスごとに、参列者数を制限し、時間短縮で行います。また、来年度の入園式やPTA総会、園行事などもコロナ禍での実施となりそうです。ますます保護者の皆様のご理解とご協力をお願いすることになると思います。よろしくお願いいたします。

※令和3年度の園日より本号で最終号となります。一年間、お読みいただきありがとうございました。